

照

常

(1)



いのちまいにち あたらしい

某民放の月曜夜九時から「スカツと  
 ジャパン」という番組をやっている  
 す。巷にはびこる自己中心で理不尽・  
 ワガママな迷惑人間を、「スカツとば  
 あさん」なるご婦人が現れて、正義の  
 味方よろしく、スカツと退治！という  
 内容です。

ある日の放送内容はこうでした。  
 ペット持ち込み禁止のカフェに、ワン

ちゃんと同伴したちよつと困った女  
 性。店員さんが優しくペット禁止を伝  
 えると「これは家族だ」と言い張る。  
 そこへ現れたスカツとばあさん。はじ  
 めは「大事な家族なのよね」と彼女  
 に寄り添うような発言。ところが、

「このワンちゃん、おいくつ？」  
 「二歳半です」

「あら、じゃあ人間ならとつくに一人  
 前。挨拶ができて当然ね。こんにちは。  
 …あら、返事がないわね。どうしたの  
 かしら。それに一人前なら、何か注文  
 するのが常識でしょ。」

「これ、ペットですから」…。  
 語るに落ちた迷惑女はすこすこ退散し  
 てみんなスカツと、というオチでした。

\* \* \*

二十数年前、「ゾウの時間 ネズミの時間」という本がラジオ番組で紹介され、興味があつたので購入して読んでみました。書いたのは当時東京工業大学教授の本川達雄さん。この方「私とはなにか」ということを人生の課題とし、ナマコの研究を極めた大変ユニークな先生です。

読み進めると、難解な数式が次々と出てきたところは飛ばしたので、読破は断念しましたが、面白かつたので大まかな内容は覚えていきます。

世間せけんにいる動物、身近なところでは前出の犬や猫、それとタイトルのゾウやネズミなどの寿命を、心拍数・体重などから計算すると、どんな動物も一生涯にする呼吸数・心拍数に差はない

ということですが。

大きい動物は大きくなり動作や呼吸が遅く、逆に小さい動物は早い。体の大きさに合わせて体内で起こる現象のテンポが違うのでそれぞれの大きさに対応しているそうです。

犬の寿命は約十五年、猫だと十年、ゾウは七十年ネズミは一、二年というように人間の時間に当てはめるとそう見えてしまうのですが、一生を生き切った感覚では、ネズミもゾウも存外変わらないのではないか、ということです。

つまり、ネズミはネズミの時間、ゾウはゾウの時間をそれぞれ生きていく。人間の時間感覚ではゾウは長寿、ネズミは短命と見てしまいが、実はそ

うではない。それぞれの生き物がそれぞれ  
 ぞれの時間感覚でそれぞれの一生を全  
 うしようとしている、ということだそ  
 うです。

私たちは、いのちを長さではかつて  
 しまいます。「鶴は千年、亀は万年」  
 というように、鶴や亀は長寿の象徴で  
 す。そして人間にとつてそれはめでた  
 い、喜ばしいことなのです。ですから  
 私たちは多くの場合、長生きがした  
 いと言います。が、年は取りたくない  
 も言います。また中には「長生きをし  
 て家族に迷惑をかけたくない、けれど  
 なかなかお迎えが来なくて…」と言  
 う方もおられます。

いのちを長さではかつて、長いほう  
 がいいと思ったり、ときには早く死に

たいと言ったりする。人間はいのちま  
 でも自分の勝手な都合でしか見ること  
 ができないようです。

お釈迦さまの教えに「正しい教えを  
 知らずに百年生きるよりも、正しい教  
 えを聞いて一日生きるほうがはるかに  
 すぐれている」というお言葉がありま  
 す。また真宗の先達には「いのちは長  
 さだけではない。幅も厚みもある」と  
 いう言葉もあります。

寿命・いのちは、長さだけに意味が  
 あるのではなく、どう生きたかにこそ  
 深い意味がある。いのちを長さでしか  
 見ていないことにこそ問題がある、と  
 教えているのではないでしょうか。

一日一日をお念仏の中に生きる。長  
 くとも短くとも、一声一声のお念仏の

中に、新たな私を生きる。

お念仏の教えはそういう世界を私に開いてくれるのではないのでしょうか。

いのちまいにちあたらしい

朝な朝なに 日が昇るように

いのちの山にも 日が昇る

みほとけの

光あふれて カみなぎり

今日のつとめを 果たす喜び

ああ いのち ああ いのち

いのち まいにち あたらしい

いのち まいにち あたらしい

(仏教讃歌より)

三月の常例布教(法話)のご案内

○前期 三月七日(水)～十一日(日)

講師

熊本教区託麻組 良覚寺

吉村 隆真 師

○後期 三月十三日(火)～十六日(金)

講師

山陰教区鹿足組 善正寺

齊藤 断城 師

○春季彼岸会布教

三月十九日(月)～二十一日(水)

講師

北海道教区空知北組 西林寺

小林 義教 師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時(法要終了後)～午後三時半

○浄土真宗のみ教えについて布教使のご法話を頂きます。どうぞお誘い合わせいただき、ご聴聞に来院くださいますよう、お待ちしております。

○三月二十一日(水)は春季彼岸会の御中日にあたりますので月忌参詣はお休みさせて頂きますので、どうぞお寺にお参りください。

発行所

☎047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号

本願寺小樽別院

電話 (〇一三四) 二二一〇七四四番  
FAX 二九一四〇八〇番  
テレホン法話 二七一六六一六番